

# 河川で見る生き物たち

市街地の生きもの 広瀬重夫

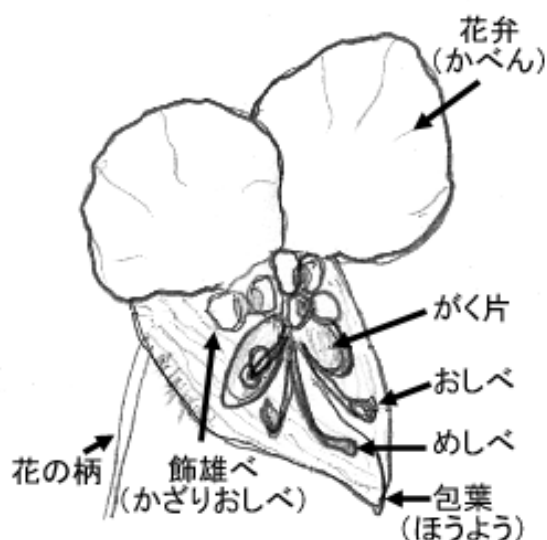
## ツユクサの花



花は朝早くから咲くが、正午ごろには閉じるアサガオと同じように短命の花。

同じ花の間で花粉のやりとりのある同花受粉といわれますが、ハナバチが花粉を運んで他花受粉という人もあり、飾雄しべの花粉は役立たずなのか、また虫がくるのなら蜜腺はあるのかなど、観察の必要があるようです。

朝早くから咲き、正午ごろには閉じているごく短命の花。そのつくりは以下のようになっています。



|     |                                                    |
|-----|----------------------------------------------------|
| 包葉  | 2枚貝のよう。つぼみがはいる                                     |
| がく片 | 白っぽい膜質<br>大2、小1 計3枚                                |
| 花弁  | 青くてよく目立つのが2枚、その間にはさまれて、白っぽい膜質のが1枚。計3枚              |
| 雄しべ | 長くて花粉を出す2本と中ほどの長さの1本、そして飾りみたいによく目立つのが受精能力のない3本。計6本 |
| めしべ | 長くて1本                                              |

[このページのPDFファイル](#)



[トップページへもどる](#)